



秋田県大仙市



野球に燃える

親父たちの甲子園



全県500歳野球大会
特別ルールブック



選手の皆さん憧れの女優

吉永小百合さんから

メッセージをいただきました。



500歳野球大会出場の皆様、
一生涯現役で野球を続けられていると
伺い、本当に素晴らしいことと思います。
お怪我に気を付けて、大活躍して下さいませ。

応援に行くことが出来ませんけれど、
一生涯命遣くから声援を送ります。
頑張ってくださいね！！

2014年

吉永小百合



大仙生まれのスター俳優

柳葉敏郎さんから

メッセージをいただきました。

“50歳野球..は、秋田が誇るスポーツ文化...と自負します。50歳以上の野球少年(?)達が織り成すこの90分間は、笑いあり、涙あり、そして...大感動あり。”

この仲間にはこれこそと頂いて
いることに最高の幸せを感じて
... “50歳野球、万歳!”

2014年、吉日

柳葉敏郎



500歳野球大会

特別ルール解説

【1】出場資格

- ① 大会開催年度内に満50歳を迎える年代以上の方。
- ② ゲーム出場選手9人の合計年齢が500歳以上。
- ③ 登録は、監督・主将を含めて30人以内。

【2】選手の服装・着用品

- ① ユニフォーム等は、チームで統一します。
- ② スパイクはポイントスパイク。金属製金具の付いたスパイクは使用禁止。
- ③ 捕手は、プロテクター・ヘルメット・レガーズを着用します。また、ファウルカップの着用を奨励します。打者、次打者、走者、ベースコーチも安全のためヘルメットを着用します。





【3】試合上の規則

- ① 試合は5イニング制で行います。延長や特別ルールを適用しない場合において、試合が同点の時は出場選手9人によるジャンケン(両チームとも打順1番から)で勝敗を決めます。
- ② 競技場区画は投手～本塁間16m。塁間23m。
両翼～本塁間75m。中堅～本塁間85m。
バッターボックス区画やベース類は一般用のものを用います。
- ③ 投手、野手にこだわらず1度ゲームを退いても、何度でも出場できます。
ただし、投手がイニング途中で退いた場合、同イニングでの再登板は認められません。
- ④ 55歳までの投手が投球できるのは、アウトカウント9を取るまでとし、56歳以上の投手は制限がありません。ただし、延長戦や特別ルールに至った場合は年齢制限を除外します。
- ⑤ 延長戦を行う場合は7回までとして、8回以降は大会特別ルールを適用します。
- ⑥ 大会特別ルールを適用する場合は、無死満塁で塁上には7・8・9番が走者となり、打者には1番打者が入ります。
- ⑦ 雨天や日没の場合、3回以降で勝敗が確定した時はコールドゲームを適用する場合があります。この時点で同点の場合は、出場選手9人によるジャンケンで勝敗を決めます。
- ⑧ その他、上記規則に特別の定めがない事項については実行委員会及び大会本部が別に定めるものとします。



全県500歳野球大会規定

- ① 次の行為は厳禁とし、没収試合の対象とする。
 - ・金属製金具の付いたスパイクで試合に出場した時。
 - ・大会本部の決定に従わず、大会の権威を汚す行為をした時。(ボイコット等)
- ② 試合に出場するチームは、出場する前試合の3回が終了した時点で、直ちに大会本部へ先発メンバー表3通及び個人カードを提出すること。ただし、各日第1試合については試合30分前に提出すること。
- ③ 予定時間前でも試合を開始する場合がある。この時、前試合終了後20分を経過しても試合の準備が整わない場合は、そのチームを棄権と見なす。
- ④ 対戦チームよりボールボーイ1名ずつを出すこと。
- ⑤ シートノックは5分間とする。ただし、悪天候の場合はこの限りでない。
(大会初日、2日目、3日目はシートノックなしとする)
- ⑥ 大会初日、2日目の試合は5イニング又は1時間30分までとし、同点の場合はジャンケンにより次試合の出場権を決する。(延長戦及び特別ルールは、大会3日目以降に適用する)
- ⑦ 雨天や日没で試合の勝敗が確定していない場合、決勝戦に限っては順延による継続試合とする。
- ⑧ ベンチからの選手交代は個人カード(打順記入)で行い、内部のポジション交替は口頭で行う。
(個人カードの受け渡し等は、原則監督とする)





- ⑨ 試合終了後、両チームの代表者は本部において試合記録の確認を行うこと。また、この際に勝利チームの代表者は次試合用のメンバー表を本部から受け取ること。
- ⑩ 雷時の安全対策のため、木製バットを1本以上準備すること。
- ⑪ 試合球は、ケンコーボールA号を使用する。
- ⑫ ベンチは組み合わせ番号の若い方を1塁側とする。
- ⑬ 荒天等により、大会期間中(予備日を含む)に全試合が消化できない場合、大会の中止もしくは延期については、主催者の判断により決する。
- ⑭ 試合終了後は、チームの勝敗に拘わらずグラウンド整備をすること。
- ⑮ 試合上のケガについて主催者は、一切責任を負わない。また、参加チームは傷害保険及び賠償責任保険等にチーム責任として必ず加入すること。
- ⑯ その他、上記規定に特別の定めがない事項については実行委員会及び大会本部が別に定めるものとする。





再度出場の規則(代打代走)



常に9人の合計が500歳以上になっていること

- ① 打者に代わって代打者、走者に代わって代走者が出場できるが、打者、走者共に打順表の中でその順番が固定されており、多様な選手交代によって打者の打順を変えることはできないので、特にご注意願います。
※守備位置が変わっても、打順は1試合を通じて固定されます。
- ② 代打者、代走者が守備についてもよいが、代わった自分の打順で打撃を続けること。

打者	1	2	3	4	5	6	7	8	9	◎	◎
走者	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K

- 例1) 1番のAさんにJさんが代打で出場したとき、Aさん、Jさん共に試合終了まで1番打者となる。
- 例2) 1番のAさんにJさんが代打で、2番のBさんに代走者Kさんが出てそのまま守備についたとき、試合終了までAさんとJさんが1番打者で、BさんとKさんが2番打者となる。

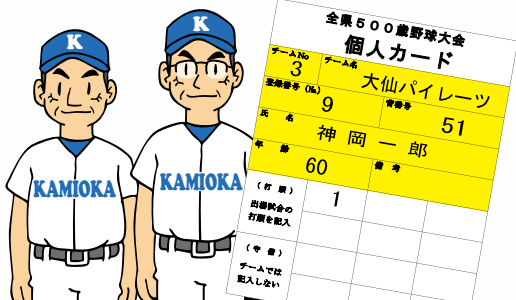
プレイボール直後の選手交代

- ◎ 先攻チームの場合、1回プレイボール直後に投手が1球も投げないうちに、1番打者に代打を適用する。(OK)
- ◎ 後攻チームの場合、1回プレイボール直後に投手が1球も投げないうちに、守備の交代を適用する。(野手はOK) (投手は、第1打者と対決する義務があるのでNG)



選手交代時の年齢確認について

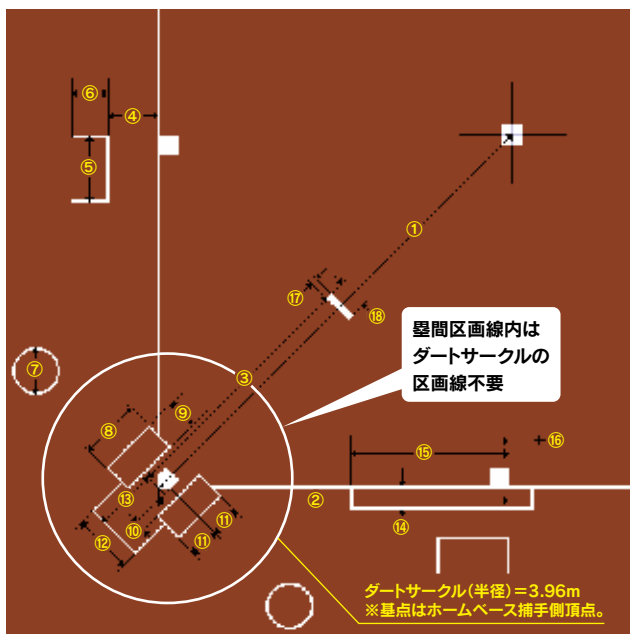
- ① 選手交代時は、審判にタイムを要求して個人カードで行ってください。
- ② 交替選手が確認できた段階で、審判は年齢計算を待たずにプレイをジャッジします。
- ③ 会場本部は、プレイ中に年齢計算をして、合計年齢確認の結果、万一年齢に不足が生じていても本部からは公表しません。(プレイを止めない)
- ④ 相手チームから、合計年齢不足を根拠とした計算年齢を提示した訴えがあった場合のみ、確認した合計年齢を公表し、実際に年齢に不足が生じている場合は、両チームの監督に確認し、大会本部の指示を得た段階で没収試合とする場合があります。



アピール・クレームについて

年齢計算などの規定違反に対するアピール・クレームについては、現に規定違反となっている時点でのみ受け付けます。規定違反時点が過ぎてから、もしくは試合終了後のアピール・クレームについては、受け付けません。

グラウンド区画線の長さについて



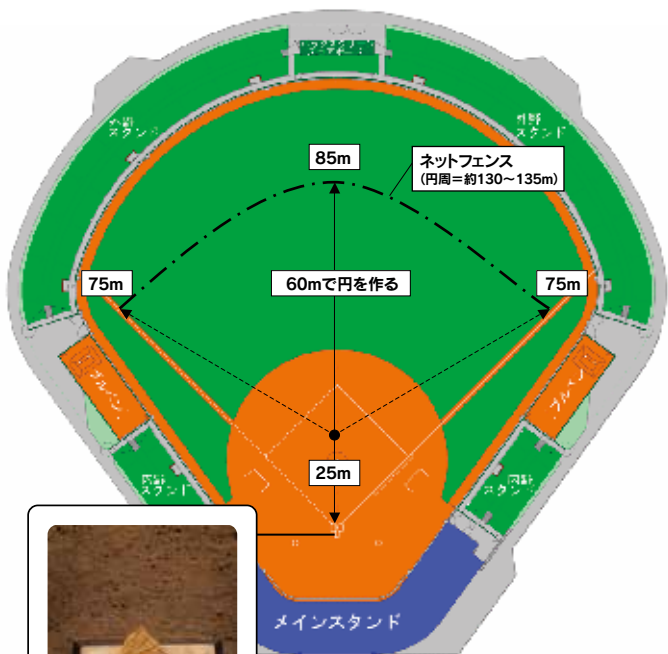
長さ	位置	長さ(m)
①	対角(塁)間	32.50
②	各 塁 間	23.00
③	投手板/本塁間	16.00
④	ファールライン/ コーチスボックス間	3.00
⑤	コーチスボックス 幅	5.14
⑥	コーチスボックス 奥 行	2.54
⑦	ネクストバッター サークル(直径)	1.30

※①～⑦、⑭～⑱は学童野球規則、
⑧～⑬(太字) は一般野球規則に準拠

長さ	位置	長さ(m)
⑧	バッターボックス 長	1.82
⑨	バッターボックス 幅	1.22
⑩	本塁/バッター ボックス間	0.15
⑪	⑧ の 半 分 (中心位置注意)	0.91
⑫	キャッチャース ボックス幅	1.09
⑬	本塁/キャッチャース ボックス最後方間	2.44
⑭	3フィートライン 幅	0.91
⑮	3フィートライン起点 / 一 塁 間	11.50
⑯	一塁/3フィートライン 終 端 間	0.91
⑰	投 手 板 後 幅	0.15
⑱	投 手 板 幅	0.61



外野フェンスの張り方(500歳野球)



ホームベースの
この頂点が基点です



500歳野球大会

Q&A



選手の服装・着用品等について



Q. アンダーシャツは、チームで長袖、半袖の統一をしなければならないのか？

A. 色が統一していれば、長袖でも半袖でもかまいません。

Q. スパイクの色は別々でもいいのか？



A. 金属製スパイク以外のものであれば、同一系色で可とします。また、ズック靴(色は自由)の使用も可とします。

Q. ランナーコーチが着用するヘルメットは、バッテリーヘルメットと同色でなければいけないのか？

A. 安全対策が趣旨であるため、同色でなくても良いが、できるだけ統一されたい。



Q. ストッキングは同一色のものであれば、どのような形状でも良いのか？



A. 同一色(同デザイン)であれば、形状は問いません。

Q. バッティンググローブ(手袋)は使用しても良いのか？



A. 使用しても良い。

Q. パンツスタイルが多様化しているが、チーム内で混在していても良いのか？



A. レギュラー・ロング・エクストラロング・足掛け式ストレート等様々なスタイルのパンツがありますが、チーム内で混在しても可とします。ただし、スポーツマンらしい着こなしとしてください。



Q. 新人のチーム員にユニホームを新調する場合に、胸番号・袖マーク・背ネーム・パンツ番号まで統一しなければならないのか？

A. 現ユニホームも、数年後には廃盤になります。メーカーや素材が違っていてもデザインが統一されていれば可とします。また、胸番号・袖マーク・背ネーム・パンツ番号は出来るだけ統一されたいが、チームの事情により付いているものと付いてないものが混在しても可とします。したがって、デザイン・胸マーク・背番号までは統一してください。

Q. サイズ等の関係から、背番号とパンツ番号が違って良いか？

A. 背番号を優先とします。ただし、背番号とパンツ番号が違う場合は、試合前に本部に報告してください。



500歳野球大会

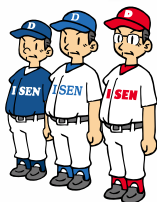
Q&A



その他

Q. 開会式にはどの程度の人数の選手を参加させるべきか？

A. 原則的には登録選手全員での参加をお願いします。



Q. ボールボーイ係について、誰を出すのか本部への届出は必要か？



A. 原則としてチームの一員でお願いします。届け出は不要です。チーム事情により、選手登録者以外の方を出す場合は本部にご確認ください。

Q. ボール回しはしているのか？

A. 大会運営をスムーズに行うためにも、試合中のボール回しは行わないようご協力をお願いします。



Q. 試合中にケガをした場合、応急処置も各チームで行うべきか？

A. 各会場に救護係を配置しているほか救急箱も準備しておりますが、各チームでも出来る範囲で処置願います。



Q. 監督がプレーヤーと協議するために要求できるタイムの回数はいくつ？

A. 1試合中、選手交代とは別に、守備で3回、攻撃でも3回までとします。

3回



Q. 雨天・日没で3回以降勝敗が確定時は
コールドゲームを適用する場合があるとなっているが、
どのような基準で判断するのか？

A. 次により主催者が判断します。

- ①3回に満たない場合は、特別継続試合とする。
- ②3回以降で勝敗が確定し、当日の試合継続が
不可能な場合はコールドゲームとする場合がある。
- ③3回以降で同点の場合は、ジャンケンとする。
ただし、決勝戦は順延による特別継続試合とする。
- ④途中荒天等による、当日の試合継続の可否については、
試合を完了するよう努力しつつ
主催者が判断する。



Q. 登録外選手または背番号が違う選手が出場した場合、
没収となるのか？

A. 登録外選手または背番号が違う選手が出場した
場合は没収試合となります。ただし、試合中に
登録外選手または背番号の違う選手が判明した
時は、実際に出場する前であれば、その選手の出場
を差し止め、ベンチから退去させたいうえで、チーム
自体の没収試合とはしません。登録背番号が
違っている場合は、メンバー交換の際に申し出て、
相手チームの代表者が了承した場合は出場を
可とします。



個人カード記入の仕方について

このカードは、スピーディな選手交代と年齢計算を行うために導入しています。記入する際には、下記の事項に注意して下さい。

- ① チームNoは抽選番号、チーム名は正式名称を記入すること。
- ② 登録番号 (No.)、背番号は開会式当日に受付で配布する「大会プログラム」に記載されている番号と相違ないことを必ず確認すること。
- ③ 氏名はフルネームで記入し、打順は当該試合の固定打順を記入すること。
※年齢も忘れずに記入のこと。
- ④ 先発9人分のカードは、試合前にメンバー表とともに提出すること。(メンバー表は、記録の基になり、翌日新聞掲載の原稿にも影響しますので、誤字・脱字にはご注意願います)
- ⑤ 選手交代をする時は、出場選手のカードを提出し、退く選手のカードを受け取ること。(原則として監督が行うこと)
- ⑥ ボールペンまたはサインペンなどの消えにくく見やすいもので記入すること。(打順については鉛筆で記入してください)





記入例

全県500歳野球大会

チームの
抽選番号

個人カード

チームNo 3	チーム名 大仙パイレーツ
登録番号 (No.) 9	背番号 51
氏名 神岡 一郎	
年齢 60	備考
(打順) 出場試合の 打順を記入	1 鉛筆で記入
(守備) チームでは 記入しない	

※ の欄をボールペン等で記入。

※「大会プログラム」と相違ないことを確認する。



500歳野球の歴史



500歳野球のきっかけとなったのは、昭和53(1978)年に行われたある野球の紅白試合。県野球協会会長をつとめていた、故高橋政泰氏の提唱により、実戦に参加する機会がなく観戦だけに終わっている50歳以上のOB達が集まり、熱戦を繰り広げました。

翌54年6月、「神宮寺嶽クラブ」の新調のユニフォームを着用した28名は再び紅白試合を行い、さらに7月1日には町内外の反響の大きさに力を得て「第1回大曲仙北500歳野球大会」を開きました。

これら二度の紅白試合と郡市大会を行い、自信をつけた選手の間から「今度は全県大会を開催したら」との声上がり、同年10月20日、秋田魁新報社が主催となり、少年野球発祥の地と言われる旧神岡町の主管で、記念すべき「第1回全県500歳野球大会」が行われたのです。



【編集】全県500歳・550歳野球大会実行委員会
(秋田魁新報社・大仙市)

【監修】大仙市野球連盟 神岡支部

お問い合わせ先



大仙市教育委員会
生涯学習部 スポーツ振興課

〒014-8601 秋田県大仙市大曲上栄町2-16
TEL.0187-63-1111 FAX.0187-63-7131